



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2017

9

Bulletin
2017.9.1発行
第32巻第3号通巻381号

主
題

国際会長 ともに、光の中を歩もう "Let Us Walk in the Light - Together"
アジア会長 ワイズ運動を尊重しよう "Respect Y's Movement"
西日本区理事 2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
"Healthy mind & healthy body make healthy club"
京都部部长 All Hands on Deck!

聖
句

それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。
コリントの信徒への手紙 二 12章10節



『ワイズ活動の再開』

副会長 田中 邦昭

昨年1月下咽頭癌が見つかり4月に手術を受け、その際転移のあった食道等の切除により声を失いました。幸い5月中旬に退院して、その後通院による抗癌剤治療を続け、今年1月よりプリンスワイズメンズクラブに復帰させていただきました。その間感じたことは、次世代への引継ぎ準備が何も出来ていなかったことです。体調的にも手術後の回復と抗癌剤の副作用が有り、それも進捗出来ませんでした。まずは体力回復と身近なことから始めることにし、毎朝45分の散歩、社会との関わりではワイズメンズクラブ活動に復帰して出来ることから貢献すること、仕事面では主に見積方法を教えることにしました。そのような中、宇高会長から副会長のお誘いをいただきました。体力気力とコミュニケーションの仕方で迷いましたが、今までお付き合い頂いた宇高会長とクラブメンバーに些かでもお役に立てる事が出来ればと役を引き受けました。朝と就寝の生活行動は決まっておりましたが、それ以外はその日暮らして行動しておりました。そこへワイズの定期活動が入ってきて少しは社会への視点が戻ってきたように思われます。ただ6月末に手仕事の蠟色磨きを続けて行ったせいで、癌除去のため鎖骨を一部切り取り再接合した部分が外れてしまいました。その為右手に力を入れる作業は出来ません、特に野外活動は当分無理なようです。でも野外活動復帰の目標が出来ましたので、それを糧に日々を過ごしたいと思っております。宇高会長主題「{わたしたち}意識を大切に」が本当に身にしみており、早くその輪に完全復帰を目指します。

今期の活動は、より多くの新しい方にワイズメンズクラブの活動を知って頂くことを主題としております。その結果、奉仕活動における"人との出会いや交流の素晴らしさ"を深く共感して頂ける仲間が増えれば最高のクラブ繁栄に繋がると考えております。昨年度、京都プリンスワイズメンズクラブ30周年と同時に発足した「プロジェクト30」の実行委員長と兼任で、今期、EMC・交流委員長をつとめさせていただきます。そういう意味でも、新しく出会う方々には、『京都プリンスワイズメンズクラブの活動が、自分のこれからの人生の1ページに加えたい』と、心から感じて頂ける様な、楽しく魅力的な活動をしていきたいと思っております。今期考えているのは、"奉仕活動=楽しい"というシンプルな感覚を伝えられ、毎年恒例とできる「メンバーもゲストも楽しく交流できる」企画を一つでも多く実施したいと考えています。とにかく楽しく!!
EMC・交流委員会より (委員長 今西 英隆)

会長主題

“私たち”意識を大切に

会長 宇高 史昭
副会長 飯尾 豊
田中 邦昭
書記 小野 敏明
会計 森 伸二郎
林外会長 宇高真知子

賞讃月間

Menetto

9月 例会案内

10日(日) 京都部部会
今期の部会は、京都ZEROクラブのホストで、ウエスティン都ホテルにて開催されます。
20日(水) 第二例会
藤尾連絡主事を迎えてのYサアワー。新しいYMCA体制について、お聞きします。

例会出席

8月第一例会	12名
在籍者数	16名
メンバー	3名
出席率	93.8%

BFポイント

切手	pt
現金	0円
果計	0円

ファンド

スイカ	119,700円
果計	119,700円

ニコニコ

8月第一例会	4,000円
果計	9,000円

8月第一例会

2017/8/9
榎木 徳子

会長挨拶では、今日は長崎原爆の日、被害を受けるのはいつも子供たちであり、そのことをあらためて考えた、というお話がありました。藤尾主事に代わって食前の挨拶をした西村ワイズからは、病気を経験して命に感謝したというお話もあり、静かな会の始まりでした。

8月第一例会は、森ワイズ講師とした「最先端の宇宙探査技術による星空の紹介」でした。お仕事の都合などで、メンバーは11人でしたが、今西メネットと今西コメントお二人が場を盛り上げてくれました。さて、森ワイズのお話は、天体ソフト「Mitaka」を使って、何万光年もはるか遠くにいるような場所から太陽系を見ながら、想像をかきたてるものでした。

森ワイズが天体観測にはまったのは、20年前、土星の周りの環を見て感激したのがきっかけだったそうです。冥王星が惑星でなくなった理由、火星までは岩石だが、木星から外の惑星はガスでできていること、隕石は地球に落ちる前に木星に落ちるため、地球が安全であることなど、いろいろ聞くことができました。中でも印象に残ったのは、「宇宙は偶然ではなく必然である」という一言でした。

私は小学生の時、火星シリーズの本にはまっていて、図書室によく借りに行きました。火星には、本当に火星人が住んでいるのではないかと想像しながら(本当にいるとは思いませんでした。昔から現実主義者だったんですね)、わくわくしながら読んでいました。また、中学生の時はブラスバンドでフルートをふいていて、ホルスト作曲の「惑星」をコンクールで演奏したとき、フルートの細かい音は、小さな星たちをあらわすんだと、指導者から言われたのを思い出しました。

天体のお話をする森ワイズはとても賢く、少年のようにキラキラしています。(暗くて見えませんが、たぶん)

宇宙のお話、涼しく楽しい夏の時間でした。森ワイズありがとうございました。



続・サバエワーク報告

2017/7/2
蒔田 茂夫

いよいよ宇高会長期のスタートです。プリンスクラブでは近年このサバエキャンプ場の開設ワークが新年度の始まりです。また今年度も一年ワイズの活動を有意義なものにしていこうと思います。今年は参加人数が例年より少ないスタートとなりましたがワーク開始直後から炊事棟、シャワールーム周辺の草刈りや清掃をメインにカマドの補修から松喰い虫で枯れた松の木の伐採に至るまでメンバー全員が精力的に動き廻りました。去年調子の悪かったYMCA所有のチェーンソーが新調されていました。三村ワイズのチェーンソー捌き!?!は圧巻でした。程なく今期京都部合田Yサ主査が自前の電動丸ノコを持って登場。扱い方を教えて頂き、切倒された木の幹や枝を細かく裁断しました。切れ味は抜群ですがはマキタ!?!(の電動工具)などと面白くもない事も言いつつ昼食となりました。例年通りおいしいカレーを頂きながら暫しの休憩。午後からは刈り取った雑草や切倒した枯れ木を一輪車で焼却場へ運んだり、芝刈り機にて広場の整備などにメンバー全員で従事。午後3時前、湖西の方角から雷鳴が聞こえワーク終了するや否や激しい雷雨となりました。わたし自身年々ワークがきつく感じるのは年齢のせいかな地球温暖化のせいかな、はたまた前夜の過ごし方のせいかな!?!ともあれ来年もしっかりワークできるよう頑張りたいと思います。宇高会長以下ワークに参加されたメンバーの方、大変お疲れ様でした。



8月は第一・第二例会を一緒にして納涼例会を行いました。当日は開始時間の30分前から突然のゲリラ豪雨に見舞われ、それぞれが店にたどり着けずに、駅で、電車の中で足止めをくらいました。私は家を出よかなと思っていたところ、突然の稲光と大音響。降り出した雨は、バケツをひっくり返したようなものすごい量。大雨の中繰り返す稲妻と、バリバリと言う落雷の音。例会開始時刻の5時を過ぎた頃によりやく小降りになってきたので(それでも普通の雨程度)家を出る決心がつかしました。今月の例会はウチの隣の駅の「三陽(みはる)」と言う店。寿司屋なのですが、うなぎの方が美味しいという変わった店。普段はしていないのですが、会長の顔で宴会料理にしてもらいました。日本酒を持ち込み、締めうなぎを食べ終わるまで、飲んで食べて、おしゃべりをして楽しい時間を過ごしました。

青い空と白い雲のキャンプ

2017/8/19-20

飯尾 豊

今年の夏は雨が多く心配していましたが、子供達の願いも叶って快晴、いよいよ青い空と白い雲のキャンプが始まりました。ことしは子供達の参加が26名と多くメディカルスタッフ、リーダー、ワイズメン合わせて約90名のキャンプになりました。

今年のテーマは「サバエ冒険隊になろう!!」、このテーマを叶える為にウイングクラブがツリーハウスを作ってくれました。私も子供のころ、木の上に隠れ家を作って住めたら良いだろうと思う夢を持っていました。うらやましい限りです。子供達は11:30にサバエキャンプ場に到着、早速キャンプ開始の旗揚げ式が始まりました。キャンプ場での注意事項、予定の連絡後のツリーハウス名人が登場、そこで子供達のグループ毎にツリーハウスに関するお題を頂いて全てクリアすれば明日、ツリーハウスに上がれるとの約束をして去って行きました。なかなかの演出です。

今回はサバエ族の出番は無し、ちょっぴり残念でしたがこの新しい企画で良かったと思います。昼食後、それぞれのグループに分かれお題のクリアにサバエ冒険隊の挑戦が始まりました。お題のクリアが出来たのかな?。夕食後、リーダー達と一緒にキャンプファイヤーが始まり、それぞれのリーダーの得意な歌、遊戯が披露され、中でも「猛獣狩りに行こうよ」が大いに受けて全員大爆笑でした。楽しい時間はあっという間に過ぎ、明日気球が上がる事を願って就寝しました。

斎藤 謙治

朝6時起床、抜ける様な青空 熱気球日和に一安心。昨日も蜻蛉を見かけ晩夏を感じながら涼しい夜を過ごしました。早朝の秋を思わせるような白い雲に向かって、参加者全員の夢を乗せた気球が音もなく、青空をバックに上昇する様は感動的でした。

キャンプサイトに引き上げ、旗揚げのセレモニーの後、朝食を終えて小休憩後カヌーのプログラム、今年は恒例のサバエ族はなく、キャストは寂しげな様子。新しいプログラムがウイングクラブ製作のツリーハウスでの冒険が子供達へのサプライズとして用意されました。

プリンスクラブは昼食のやきそば60玉と焼きパイナップルの調理に、薪カマドの炎にあぶられながら、汗水流して大奮戦、特にやきそばのエキスパート三村ワイズと焼きパイナップルの飯尾ワイズのおふたりは本当にご苦労様でした。ツリーハウスのプログラムが入った事により、昼食の時間が1時間程度ずれ込んだ為、無事60玉のやきそばを仕上げ提供出来た時には、メンバー全員笑顔。子供達も初日バスを降りた時は、緊張感で堅い表情でしたが、昼食時は全ての冒険を達成した自信に満ちた表情でした。この様な子供達の姿を見られ今年も参加出来て良かったです。只一つ残念な事はキャンプサイト横を走る湖周道路の騒音が年々増加してきている様子です。キャンプ場としての使用を考慮しなければならない時期なのかもしれません。



東広島クラブだより

恒例の西条酒まつりが間近に迫ってきました。今年は、10月7日(土)8日(日)の開催となりますが、メインステージの“KIZUNA会場”では、クリスハート、元ちとせ、中孝介などのゲストアーティストが酒まつりを盛り上げてくれます。また、“酒ひろば”では、2,100円(前売り1,600円)で全国各地の約1,000銘柄のお酒を味わうことができます。更に“美酒鍋会場”では、蔵人が生んだ東広島の郷土料理である美酒鍋(びしょなべ)を堪能することができます。同時に西条が誇る8つの蔵元(賀茂泉酒造、福美人酒造、亀齢酒造、賀茂鶴酒造、西条鶴醸造、白牡丹酒造、金光酒造、山陽鶴酒造)では、工夫を凝らしたイベントを用意して皆さんを迎えてくれます。

東広島クラブは、毎年西条酒まつりをDBC交流の場として位置づけ、西中国部に所属する6クラブの交流の場としても活用しています。7日(土)は、12:00にJR西条駅前に集合して昼食を取ったあと、それぞれが酒まつりを楽しんだ後6:00に憩いの料亭“白竜湖”に再集合して懇親会を開催します。東京サンライズからは、3名の参加申し込みを頂いていますが、京都プリンスのメンバーで参加を希望される方は、9月30日(土)までに書記の谷本のメールアドレスtanimotohideyasu@gmail.comもしくは、携帯電話090-1330-7023までご連絡下さい。

当日、皆様と会場でお会いできますことを心待ちにしております。

1. 世界子ども広場2017

子ども達が京都YMCA日本語科の留学生と楽しく交流しながら異文化を知り、世界への興味を広げるきっかけとなるような、多文化共生ワークショップ「世界子ども広場」を開催します。外国にルーツを持つお子さまも大歓迎です。
 受付期間： 9月16日(土)午後2時～4時
 場 所： 京都YMCA 対 象： 小学生(定員25名)
 参加費： 500円 お問合せ： 京都YMCA(担当：關)
 (TEL: 075-231-4388/E-mail: kyoto@ymcajapan.org)

2. 三条本館耐震工事に伴う会館使用について

三条本館は新耐震基準に合わせるための耐震補強工事を実施いたします。皆様に引き続き安心して会館をご利用いただくために、また、2018年度新設の認可保育所を子どもたちにとって安全な成長の場にするための取り組みですので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。
 工事期間中は、下記の通り2階・3階会議室が使用できなくなり、皆様にはご不便をおかけいたしますが、可能な限り早期に工事を終わらせるよう進めて参りますので、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。
 耐震補強工事時期： 2017年10月から12月末まで

※2018年1月中の使用再開を予定しておりますが、いつからご利用いただけるかについては、決まり次第ご連絡いたします。
 ※工事期間中は、京都YMCA本部および専門学校も仮事務所・仮校舎に移転いたします。
 お問合せ： 京都YMCA(TEL:075-231-4388)

3. 2018年度開設保育所 職員募集

2018年度開設に向けて準備を進めている保育所の職員(保育士、栄養士、調理員)を募集しております。
 京都YMCAホームページ(<http://www.kyotoymca.or.jp/>)の募集要項をご覧ください、お知り合いの方などにぜひお声掛けをお願いいたします。
 ◎採用説明会
 日 時： 9月9日(土)午後2時30分～
 会 場： 京都YMCA三条本館
 お申込み： 説明会に参加される方は事前にお電話またはメールにてお名前・連絡先をお知らせください。
 お申込み・お問合せ先： 京都YMCA 本部総務(担当：加藤、浅井)
 (TEL:075-231-4388/E-mail: kyoto@ymcajapan.org)

北海道部会に参加して

岡西 博司



今年も昨年同様、約一カ月間(本当は1ヶ月半)の北海道での夏休みを楽しませて頂きました。昨年行けなかった札幌YMCAやYMCAチミケップキャンプ場を是非とも訪問したく思っていました。そんな折、十勝クラブの池田さんのお宅にお邪魔した時、部会のことを聞き、直ぐに申し込みました。

19日の土曜日、場所はYMCA。開始は午後3時から。東日本区理事の栗本さんとその三役の札幌さん大川さんも参加されていました。

北海道には、札幌クラブ、札幌北クラブ、十勝クラブ、北見クラブの四つのワイズメイズクラブがありますが、それにしても不思議な部会です。評議会兼部会というのは初めての経験です。やっと評議会が終わると、「では今から部会です。」総勢二十数名程度。理事の挨拶で始まり、講演者の紹介(教会の牧師さん)。「パレスチナの現状」という話で、スライドを見ながらのお話でした。その後は、懇親会を別の場所を用意しておりますということでYMCAのバスに乗りイタリアレ스토랑へ直行。所変われば、・・・と言いますが、京都の部会に慣れている僕には、びっくりでした。しかし、何名かの方達とお話ができて、新たな友を得ることが出来、有意義な部会になりました。翌日は、そこで知り合った森本さん(元大阪サウスクラブ)のニセコに有るペンションへ訪問させて頂き、いろいろとお世話になりました。何処に行っても、同じワイズということで、直ぐに打ち解け、仲良くなれる事は本当に有難い事でもあり、ワイズの良さだと思いました。感謝です。

8月度 役員会報告

報告事項

- 京都部メネット事業国内プロジェクト支援申請に、「ののさん」の活動を申請することを検討する。
- 3クラブ合同例会のゲストとして、NHKお天気キャスターの吉村さんをお迎える。

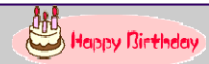
承認された事項

- 承認事項はありません。

9月 スケジュール

- 10日(日) 第22回京都部会
15:00 ウェスティン都ホテル
- 16日(土)～17日(日)
12:00 ファミリーキャンプ
サバエキャンプ場
- 20日(水) 第二例会
19:00 グランドプリンスホテル
- 27日(水) 役員会
19:30 廣井ワイズ事務所

9月



- 14日 藤尾 実
- 17日 飯尾 豊

編集後記

この委員会はストレスとの戦いの毎日です。苦手克服のため頑張っているのですがまだまだ道は遠いようです。こんな中、プリンスプロジェクト30に明るい光が見えてきました。みんなでこのプロジェクトを盛り上げてゆきましょう。みんなの力が大切です。